

那賀高祭

9月28日(土)・9月29日(日)・9月30日(月)
いざ、令和に轟け、那賀リンピック!
～Thank you 平成～

徳島県立那賀高等学校

せせらぎ新聞

第67号

発行/那賀地域中高一貫教育研究委員会事務局
(徳島県立那賀高等学校内)
電話: 0884-62-1151
FAX: 0884-62-2590
那賀高校ホームページURL
<http://naka-hs.tokushima-ed.jp/>

1日目
9月28日(土)
文化祭①/開会式・バザー・教室イベント・展示

文化祭1日目は、開会式に続き、生徒会主催でクラスによるバザーや教室イベントのCM動画を上映しました。このCM上映は、今年初めての試みでしたが、那賀高祭の準備期間中に撮影された写真が映し出され、各クラスの代表がイベントの告知をすると歓声が沸くなど、大いに盛り上がりました。

今年のクラスイベントは、3年生の食品バザーでは、タピオカミルクティーやチョコロス、アイスやクレープ、ラーメンやフランクフルトそして大芋芋など、バラエティに富んだ飲食物が販売されました。また1・2年生の教室イベントでは、海のコースターやお付け屋敷、木工品の展示販売、輪投げ、プラ板工作やストラックアウトなど、各クラスともに工夫を凝らした催しが行われました。その他にも、連携3中学校による芸術作品の展示や、茶道部によるお茶席、華道部による生け花、エンカルクラブによる「服活」、バレーボール部やPTAによるバザー、そして部活動展など多くの展示やイベントで賑わいました。

2日目
9月29日(日)
文化祭②/ステージイベント

文化祭2日目は、体育館で1年生によるフェスティバルと、生徒会と有志によるステージイベントが行われました。

ステージは、セントメアリーズ校の歓迎会で幕を開け、人形浄瑠璃部による三番叟の上演やセントメアリーズ校生による合唱も披露されました。フェスティバルでは、各団の2年生が考えた演出やダンスを、1年生が一生懸命練習し、ステージで披露しました。例年にも増して素晴らしい各団の演技に、多くの拍手が送られました。続いて行われた生徒会企画のバースデイじゃんけん大会も大いに盛り上がり、準備を進めてきた生徒会のメンバーも喜んでいました。

最後に行われた有志によるステージイベントでは、参加者が得意の歌やダンスを披露しました。先生によるサプライズ出演もあり会場は大きく沸きました。ステージでは、普段の学校生活では見られない生徒の姿が見られたほか、趣向を凝らしたパフォーマンスが繰り広げられ、会場から大きな歓声が上がっていました。



3日目
9月30日(月)
体育祭

那賀高祭3日目は、体育祭でした。午前の部は、快晴の秋空の下、学年別対抗リレーやタイヤ奪いなど白熱した競技が行われました。また、相生こども園の園児と那賀高生が一緒に走る徒競走では、多くの声援が送られました。

昼休みが終わり、体育祭の華である応援合戦が始まるようとした時、午前中までの晴天が嘘のように黒い雲が広がり、雷も鳴り始めました。全員が慌てて校舎に避難した途端に、大粒の雨が降り始め、競技は中断となりました。一時は中止も検討されましたが、生徒達の願いが届いたのか1時間半の中断の後、雨が上がり始めました。グラウンド整備のために生徒達は、指示されることなく自主的にトンポで水を押し出し、スポンジで水抜きを始めました。泥だらけになりながらも、グラウンド整備をしている生徒達に、来賓の方々からも賞賛の声が上がりました。

全員が懸命に努力した結果、なんとか応援合戦から始まる午後の競技を行うことができました。生徒達は中断で時間が空いても気持ちを切らさずに練習してきた応援合戦や各種目に対して、各団が一致団結して取り組みました。悪天候の中、そしてグラウンドに水たまりがあるといった悪いコンディションの中、参加してくれた驚愕中学校の生徒達を含めて、全員が全力で取り組む姿、体育祭を盛り上げようとしている姿は、たくさんの人々に感動を与えてくれました。

セントメアリーズ校との国際交流

9月28日(土)から10月4日(金)までの7日間、姉妹校であるセントメアリーズ校の生徒9名と引率教員2名が来校し、本校の生徒宅でホームステイをしました。初めて本校生徒と対面した時は、お互いかなり緊張していましたが、文化祭2日目・体育祭と一緒に楽しむことにより、打ち解けた表情に変わっていきました。また、授業で百人一首や書道、さらには剣道体験など、日本文化を満喫しました。

休日1日目は、ホストファミリーと買い物に行ったり、大塚美術館で作品鑑賞をしたりしました。休日2日目は、セントメアリーズ校の方々だけで徳島観光を楽しみました。たらいうどんを食べ、藍染めにも挑戦するなど、思い出深い徳島観光になったようでした。



別れの日、「もっと那賀でいたい。」「離れたくない。」と涙を流しながら話していたセントメアリーズ校生が印象的でした。

今回の国際交流を通して、両校の生徒たちが言語を学ぶだけでなく、異文化を体験し、自国の文化を見つめることができたようです。ホストファミリーを引き受けて頂いた方々をはじめ、地域の方々の温かいサポートとご理解を頂き、本当にありがとうございました。



令和元年8月10日～21日 徳島県カヌー派遣団ドイツ訪問

8月10日(土)から21日(水)、徳島県カヌー団として、那賀高校からは選手6名、教員1名がドイツのニーダーザクセン州へ旅立ちました。

この交流は今回で3度目となり、これまでにドイツ選手たちとの交流を経験している生徒もいましたが、ドイツ訪問となると、少し緊張しているようでした。しかし、カヌーの練習が始まると、その緊張も解け、カヌーで速くなりたいという同じ目標を持つドイツ選手たちと切磋琢磨し、練習に励むことができました。日本とは異なる練習環境やカヌー人口の多さなど、異なる点は多くあると思いますが、学んだことを一つの強みとして、徳島県のカヌー競技力を向上させることができるよう尽力したいと考えています。

また、ドイツ古都の散策や教会の見学、そして、ハルレという町で開かれた大会にも出場することができ、ドイツの魅力を存分に味わうことができました。



令和元10月2日(水)～10月9日(水)

ニーダーザクセン州カヌー連盟派遣団来県

今回で4度目となる那賀町への訪問では、ニーダーザクセン州のジュニア選手6名、会長とコーチの計8名が来県しました。長距離の移動で疲れていたとは思いますが、合同練習の時間も作ってくださり、那賀高校の生徒たちに、ヤンコーチが直々にテクニックをご指導くださいました。間近で見るドイツ選手たちの漕ぎは、1パドルがとても強く、加えて、身につけている技術も素晴らしいので、学ぶことが多くありました。そのような選手たちとともに練習することができ、生徒たちにとって得るものがあったと思います。また、那賀高校で歓迎会や授業にも参加し、バドミントン部との交流も実現するなど、多くの生徒がドイツの高校生と仲良くなることができました。今回の交流を支援してくださった方々に、心から感謝いたします。



那賀地域中高生徒会執行部研修会

8月5日(月)に、本校で那賀地域中高生徒会執行部研修会が開催されました。鷺敷中・相生中・木頭中・那賀高の生徒会役員が集まり、交流を深めました。初めに、各学校の取組を発表しました。どの学校も発表に創意工夫がなされており、各校の取組について分かりやすく説明してくれました。次に、自己紹介アイスブレイクを行いました。少し硬い表情をしていた生徒達でしたが、自己紹介を楽しむことができ、和気あいあいとした雰囲気になりました。その後、「防災食メニューづくり」を班別で行いました。那賀町での災害について最初に学び、決められた食材・条件を元に、それぞれの班でアイデアを出しあい、意見をまとめました。アイスブレイクで心がほぐれたのか、活発な議論が各所で見られました。それぞれのグループが栄養バランスや食べやすさ、味などを考慮した創意工夫あふれる料理を考え、そのアイデアを全体で発表しました。最後には、みんなでソフトバレーボール大会を行いました。アイスブレイクや班別活動で、すっかり打ち解けた雰囲気になっており、どのチームもチームワークばっちり、バレーボールを一杯楽しむことができました。半日という短い時間でしたが、中学生の皆さんお疲れ様でした。それぞれ各種行事で忙しい中、引率して下さった中学校の先生方、本当にありがとうございました。



日本学校農業クラブ全国大会

10月22日(火)から24日(木)にかけて山形県・宮城県・福島県で開催された「第70回日本学校農業クラブ全国大会令和元年度南東北大会」に、森林クリエイト科から2名の生徒が出場しました。日本学校農業クラブ(FFJ)とは、農業系高校で学習する生徒約9万人で構成された全国組織であり、「指導性」「科学性」「社会性」の3大目標の下、日頃の研究活動発表や競技会への参加、環境活動や社会貢献活動など、様々な活動を行っています。本校からは本年度、農業鑑定競技会・意見発表会Ⅲ類の2種目で全国大会に出場しました。その結果、農業鑑定競技の分野森林に出場した2年生の中田裕己さん、さらに、「森林からの贈り物『拝宮和紙』に魅せられて」と題して、意見発表Ⅲ類で四国ブロック代表として出場した3年生の上山凧凧さんが見事「優秀賞」を受賞しました。これからは森林クリエイト科一丸となり、那賀高校農業クラブ活動を盛り上げていきます。



鷺敷小学校との交流学習

10月7日(月)、本校ほ場で、鷺敷小3年生の皆さんと、サツマイモの収穫体験学習を実施しました。6月に定植した苗は、立派に育っていました。事前につるなどを撤去し、当日は6班に分かれて、高校生が先生役となり、一緒に収穫を行いました。定植後の雨によって、しっかりと苗が活着できたようで、たくさんサツマイモができていました。子どもたちから「てっかいのがあった。」「これごっつい。」といった歓声上がるなど、お互いにとても素晴らしい経験になりました。楽しい時間をありがとうございました。



人形浄瑠璃部活動報告

部が設立されて5年目を迎えました。人形遣いの勸緑先生や義太夫節太夫の竹本友和嘉先生にご指導をいただきながら、地域に根ざした部として活動しています。



今年度は那賀町内の八面農村舞台のほか、徳島県主催の第4回ジュニア浄瑠璃フェスティバルに出演するなど、技術の向上に向けて取り組んできました。今後も伝統文化の担い手としての自覚を持ち、地域に貢献できるような部でありたいと思います。

日本赤十字社功労者表彰

10月23日(水)にあわぎんホールで行われた、日本赤十字社功労者表彰式で、日本赤十字社社長から本校に感謝状が贈られました。これを励みに、今後もボランティア活動や防災に関する活動に参加し、災害時に地域で積極的に行動できるよう継続して学んでいきたいです。



いきいき茨城ゆめ国体に参加して

22HR 中田 隆真

10月初旬、茨城県で開催された国体に出場しました。今大会は、全国の選手との力の差を実感するレースとなりましたが、今後のカヌーの練習に向けての大きな収穫になった大会となりました。今回、大会への出場にあたり、多くの方々からご声援をいただき、国体にかかる期待の大きさを身をもって感じました。



国体に出場できたことを誇りに、今後も練習を重ね、来年は必ず入賞します！
ご声援本当にありがとうございました。

結果 【少年男子C-1 (500m)】
予選2組 8着 (2分20秒385) 敗退
【少年男子C-1 (200m)】
予選1組 6着 (56秒697) 通過
準決勝1組 8着 (53秒827) 敗退

那賀高校の防災活動

防災那賀よしキャンプV 11月30日(土)

午前中は、災害用炊飯袋(ハイゼックス袋)を使用した防災食を作り、試食しました。メニューは、梅昆布そば米ご飯・ラーメン・金時豆と豆乳のケーキでした。どれも美味しく大好評でした。午後からは、那賀川河川事務所による那賀川の河川調査や流量観測がありました。実測では水質をパックテストで、ボートに乗って川の深さを調査した後、橋の上から浮子を落とすことで流速を調べ、流量を計算しました。



中学生、高校生防災クラブ交流イベントでのレシピ紹介

徳島県教育委員会主催で7月25日(木)に中学生対象、26日(金)に高校生対象で防災クラブ交流イベントが徳島県立防災センターで実施されました。その際、本校防災クラブ生徒代表が、本校作成の「なかなか美味しい防災食レシピ集」を活用した防災食の体験・試食を紹介し、他校の防災クラブ員と交流を図りながら、楽しく活動することができました。



防災食レシピ集の動画作り

昨年度作成した「なかなか美味しい防災食レシピ集」から、生徒の評価の高いものを動画にする活動を始めました。災害発生時に、動画を見て美味しく温かい、そして、栄養価が高い食事を作ることができたら、さらにわかりやすく良いのではないかと意見があり、現在、試行錯誤中です。

新生徒会発足



11月19日(火)、生徒会役員選挙立会演説会が行われた後に、全校生徒による生徒会役員選挙を実施しました。会長に岩野李実花さん(2年生)、副会長に吉田彩那さん(2年生)、西達矢さん(1年生)が選出されました。岩野生徒会長は「私たちが手本となり、行事を盛り上げ、那賀高校に入学してよかったと思える学校にしていきます。」と抱負を述べました。